

1	会議名	第4回 学校運営協議会
2	日時	令和4年12月20日 午後5時45分から午後7時45分まで
3	会場	浦里小学校 音楽室
4	出席者	井澤良夫会長、渡邊惣伸副会長、安齋理江委員、島田義英委員 池田智昭委員、朝倉恭子委員、堀内寛子委員、 ※林秀直委員は欠席
5	市側出席者	なし
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	会議概要作成年月日	令和4年12月25日

協議事項等

1 開 会

2 井澤良夫会長挨拶

本年も10日余りとなった。先月の12日（土）の、「火災から10年」の行事ではご協力いただき、ありがとうございました。先生方は子どもを中心に考えて、心のケアをしていただき、悲しみを乗り越えて今日を迎えている。また、16日には市長・教育長に向けて小規模特認校の要望を行った。トイレの水洗化とプールの改修について要望を行った。トイレ水洗化については、教育長は理解を示している。8日の朝刊によると、黙食について県教委からガイドラインが出た。ニュースに出た学校は給食の黙食に慣れ、しゃべることもなく、黙食をしていた。また、6日に佐久市の中込小教諭が逮捕される事件があった。非違行為に係る研修は先生方も行われていると思うが、引き続きしっかりしていただきたい。委員の皆様には寒さの向かう折、健康にはくれぐれも気をつけていただくようお願いいたします。

3 学校長挨拶

長野県ではあまり降らなかったが、新潟県等で災害級の大雪。被害に遭われた方にはお見舞い申し上げます。地球温暖化などについて私たちも考えていかなければならない。2学期も登校日を5日残すだけとなった。2学期はコロナ感染症の拡大はあったが、可能な限りできることを実施するという方向でいろいろな行事を行ってきた。それができたのも運営協議会の皆様のお力添えあってこそ。特に11月12日の学校運営協議会主催で行った「火災から10年～あの日を忘れない～」については事前の準備や当日の運営など、皆様のお力添えがなければ行えなかった。10年前を振り返り、その当時子どもたちのために力を尽くしていただいた先生方や地域の方のお話を聞く中で、これからの浦里小の子どもたちを支えていく気持ちを新たに作る節目として、良いふりかえりができたと思う。現在本校に在籍する職員は長い者でも8年目。今年来た職員の中には関わってきた方のお話を聞くことで、本校のこれまで続いてきているいろいろな取り組みについて、どのような意味があるのか分かって気持ちが改まったという感想をもった者がいた。コミュニティ・スクール5期目に向けて、地域の皆様と本校児童が作る学校のイメージを皆様と明確にしていきたい。

運動会が終わってしばらくして、来入児のお子さんが1人増えた。子どもが増えるというのは元気を与えてくれる。今日の前にいる子どもたちと地域を大切に学校運営をしていきたい。

4 協議

(1) 11月12日「火災から10年～あの日を忘れない～」の反省

委員：地域の方の出席が少なかった。今後の150周年の式典に生かすため、周知が必要か。

委員：申込制だったせいかもしれない。

委員：各家庭へのチラシ配布が遅かったのではないかな。見ていない人もいたかもしれない。

学校長：地域の個配搬入日をお願いしたらどのくらいかかるのか？

委員：浦野自治会は1日でも配付される。藤ノ木も1日配付はある。

学校長：今回はおよその人数を把握する必要があったため申し込み制とした。月1回の搬入日に個配をお願いしているが、2か月前に配るのは難しい。何日前に自治会長のところに行けばよいか？

委員：1か月前でいいのではないかな？

学校長：150周年は年間計画に入れていければ。150周年の式典の参考にさせていただければ。

委員：子どもたちは2回お掃除したのですね？2回も掃除すると大変と子どもたちから言われなかったか？

委員：特に言っていなかった。良い子たちだ。

事務局：9月5日（11月12日）「校舎を大切に作る日」の反省と今後の方向について

委員長：来年度9月5日（火）でよろしいか。

委員：よい。

（2）コミュニティ・スクールの方向について

委員長：今年のような形でよろしいか？会議は6回。

学校長：来年は臨時で分担する仕事によっては係活動的なものや臨時もあるかも。ご協力お願いしたい。

委員：構成は8名。実践目標については前からそうだが、①の「広めよう！あいさつ運動」はそのままよい。

委員：あいさつは、オレンジベストあいさつ運動（少年補導員の方4名）が毎月1回、朝行ってくださっている。

委員：②の「メディアとじょうずにつき合おう！」はノーメディアデーからきているが、「子育て委員会だより」を用意していただいているので、それを扱ってから考えたい。

【※（3）を扱った後】

委員長：②の「メディアとじょうずにつき合おう！」についてはいかがか。

委員：よい。

（3）子育て委員会より

委員：「時間を決めて」というところで親と子どもとずれがあった。中には6時間という子も。（長時間視聴することの危険性などを保護者に示すのに）資料を探せばあるが、転用していいかわからないので、いい資料がなかった。まとめてみると、テレビや動画を見る→1番多いのは60分という設定だった。300分とかあるので、どこかで資料が出ればいいなと思う。お家の方からの話で、1年生はまだ理解できない様子があったので、理解してやっていくのが良いと思った。GIGAスクール構想でICTの利用が1人1台端末で身近になっているが、中でもちゃんとした利用方法でないと体に害があるとか、理解が深まる何かがあるといいかなと思った。

学校長：去年の11月の土曜参観で「子どもとメディア信州」の方に来てもらって、話をいただいた。浦里小は低学年でもゲームのこと知っている、テレビの時間が長いという現実がある。親は約束していると思っているが、子どもが守っていないというケースがあった。お家の方にも「なんでいけないんだ」という方もいてなかなか難しい。ゲーム依存になってしまうとそこから抜け出すことが難しい。そこにはまる前に時間の制限がかかるようにしたい。GIGAスクールでタブレットは使っているが、それを使って家でタブレットで好きなことをやっていることはないと思う。メディアリテラシーはやっているが、ゲームの依存性については学校から子どもたちにも伝える必要があると思う。

委員長：子ども同士で比べあっていることはあるか？ゲームでどこまで行ったとか。

学校長：暴力のゲームや対象年齢制限のあるゲームをしている子どももいる。

委員：上手につき合うことは大事。

委員：最終的にやるかやらないかは保護者の判断になるが、男子の不登校はゲームのやりすぎで時間管理ができていなくてというケースが多かった。3～4年生の時期から理由を説明してやっていけばよい。「ゲームは9歳までやらないでください」と担任から言われて守れていた時代があった。でもこれはふた昔前の話。今の親御さんはゲームで育ってきている世代。

委員：時代が変わってきている。視力のことが新聞に出ていた。視力のこと等絶えず言っていないと。

委員長：実践目標②の「メディアとじょうずにつき合おう！」はこのままで。

委員：よい

(4) 学校運営協議会委員の選出について

委員長：各自治会で話をさせていただいて、3月の協議会の方で報告をいただきたい。

(5) 報告

事務局：オクレンジャー代は一人当たり330円拠出。

長野大学とのこまゆみ教室は11月26日(土)の予定がコロナの関係で延期となり、12月10日(土)に行われた。焼き芋とクリスマスリースづくりを行った。野菜・米作り隊の指導のもと、芋を育てるところから継続的に取り組まれた。UCV、信濃毎日新聞の取材があった。こまゆみ教室(木彫)は、昨年コロナ感染警戒レベルが上がりできなかった児童が2人の講師の指導のもと今年度取り組んだ。7月9日に1回目を行ったが、コロナ感染警戒レベルが上がり、10月まで延期。2回目を10月以降行い、12月3日までの計6回行い完成した。

(6) 運動会・なかよし参観の感想より

事務局：運動会・なかよし参観では、概ね肯定的なご意見をいただいた。

運動会では、「コロナ禍でできない種目があったことが残念」「地域との種目ができるといい」等のご意見があった。

(7) 今年度の「ふるさと学習発表会」のあり方について

事務局：令和5年2月10日(金)午後に実施予定。会場は浦里小学校体育館。参加範囲はレベル5以上の時は保護者は1名のみでの参加でと考えている。参加希望は人数の把握のために参加希望用紙を用意している。地域の方の参加については、電話連絡をいただく。

学校長：1月の個配でと考えている。

事務局：体育館の収容人数を100名程度と考えている。ちなみに「火災から10年」の行事は70名程度の参加であった。

委員：地域の方の参加は紙に書いて児童に渡すより、電話連絡の方が楽なので、提案の通りでよいのではないか。

委員：よい。

委員長：通知は1月13日付でお願いしたい。

(8) コミュニティ委員会について

事務局：「ふるさと学習発表会」と同日2月10日(金)の16:15～体育館で、各お助け隊長、学校運営協議会、四自治会長、公民館分館長、PTA正副会長、職員の参加でと考えている。コミュニティ委員長も了承済み。意見交換した内容は2月13日の学校運営協議会でも扱う。以前は懇親会が行われたが、コロナ禍につき中止で。開催判断基準はレベル5で、感染者が少ない状態であれば開催。レベル6になってしまったら書面での開催。第1回は感染警

戒レベルが高くできなかったのでは是非行いたい。

委員：一度帰って、夜出直すことを考えたら、この時間でよい。

委員長：時間はこの計画でお願いしたい。

(9) 150周年記念事業について

学校長：12月15日に第2回の実行委員会を行った。9月に行ったアンケートでは、地域の方からは新たな案が出てこなかった。およその素案を作成しこんな方向でどうかということを検討した。どのPTAの方がどの分担か、またそのような分担で良いか確認をお願いしたい。記念式典は、記念運動会や音楽会と重ねてもよいか。来年度の行事と重ねると、6月の音楽会に記念式典と抱き合わせるの忙しいので、10月の初めの運動会と、11月の音楽会と記念式典という案もあるがいかがか。

委員長：運動会と音楽会を秋に行うことになるが、ご意見をいただけたら。学校では秋に音楽会をもっていても問題はないか？

学校長：6月の記念音楽会は結構忙しい。10月は運動会の後修学旅行が入ってきている。修学旅行の位置がずれるなら、10月は運動会、11月の音楽会・記念式典でも可能かと考えている。

委員：昔は行事の2学期。運動会を春に持っていつている学校は熱中症予防で。先生たちが良ければ10月と11月で良いのでは。140周年記念講演会は西田さんに来てもらった。パイロットの格好をしてもらって。

学校長：子どもたちが参画することを考えると、11月の方がいいのかなと思う。夏休み等に練ることもできるので。

委員：地域の演奏家の方をお願いしたらどうか。

委員：記念講演会は何のための記念講演会か。学校と地域を結び付けるものとして130周年の時に始めた。地域と学校を結び付けたい。より地域と学校とを結び付けるためのものを考えてほしい。

委員長：子どもたちが話を聞くなら、今話題の小平奈緒さんとかいかがか。

学校長：子どもたちが参加するのは、1年生もいるので相当分かりやすい話がよい。子どもたちがどういう地域にしたいと思っているか。今よりもっと大変な世の中を生きていく上で、勇気をもたらったりとか、問題を乗り越える話などを聞けたりすると思う。未来が明るくなるような話を。

委員長：素案の表について、この方向でよろしいか。

学校長：素案はこれを基にして良いものを作っていけたら。特にPTAの各部の役割はよいか。記念音楽会はPTAコーラス等があるので、学年PTA部に入ってもらっている。記念誌は広報等をしてもらっているのでPTA教養部に、航空写真はドローンを業者に飛ばしてもらって地域に販売したり下敷きにしたりの業者との打ち合わせがメインか。記念運動会は半日だが検討しながら。記念植樹はお助け隊の力をお借りしながら、歳を取ってきたソメイヨシノの植樹はどうかということでPTA施設部の名前が入っている。

委員長：この方向でよろしいか。

委員：よい。

(10) 来年度の行事について

事務局：来年度検討委員会（学校職員）で検討された意見を資料通り提案。スキースケート教室について、各1回程度経験すればよいと考え、1・2年そり教室、3年スケート教室、4年スキー教室、5・6年はやらないという意見が出ている。3年スケート教室はやがて市民の森が使えなくなるとのこと。

5・6年の遠足のコースについて負担が軽いもので別所温泉や小泉・室賀方面、子檀岳等。日課では朝の時間にドリル学習を15分ずつ、週3回程度とって授業時数の確保も、という意見が出ている。

委員：1年生がそり教室しているところがあった。3・4年スケート、5・6年スキーが一般的。

スケートは市民の森が使えるまででいいか。スキーは5・6年がなくなると寂しいか。

委員：5・6年生も是非。スキーであれほどインストラクターいなくてもいいかと思った。滑れない人でも荷物の番ができる。インストラクター代を節約する方法も。学校でも検討を。

委員：連学年になって、5年の夫神岳がきつい。

委員：子檀は校歌にもあるから残してもらえれば。

委員：世代が変わっても、みんな共通の思い出としてあるのが大事。地域にあるものを残したい。その辺りも考慮いただいて。

学校長：いただいたご意見を職員会議でお話したい。

(11) 学校前の太陽光発電について

事務局：（確約書や質問への回答の確認資料の主な部分を読み上げる。）

保護者向けのお知らせを配る予定。当初1月10日からの工事の予定だったが延期になった。業者が変わる場合は引き継ぎ、連絡をくれる、7:00～8:30の通行は行わない、それ以外の時間に搬入搬出する場合は誘導員を配置する、道路に面している個所から1m程度のセットバックを予定。高さは高いところで2m程度、低いところで80cm程度を予定。物が入ってしまった場合、年2回の点検時に柵内に入ったものを回収。看板を設置し、緊急連絡先を明示。除草、点検の頻度は年2回を予定。立ち入り禁止の看板を設置。

委員：本日、上田市の都市計画課へ行ってきた。農業委員会に諮っている。今日審議があり、承認の方向になりそう。1月10日に農業委員会から業者にオッケーが出る。それから上田市で検討して1か月かかる。

委員：できるようになったときに業者が変わる心配も。国の方から地域と協定書を結んで、変わってもきちんとできるようにしなさいよ、となっている。業者が変わっても協定書は有効と市の方から助言があった。

委員：協定書は学校と結ぶ？

委員：学校の前にこれだけ大きなものができるケースは初めてに近い。本当は学校と協定を結んでほしいが。

(12) 学校敷地内の樹木の剪定について

事務局：昨日届いた書類で、樹木伐採ボランティア作業の希望をするかの通知が来ている。本校でも10mを超える木が数本ある。学校としては希望したいが、ご意見を。

委員長：倒れて被害が出る前に、高いところは切った方がいいと思うがいかがか。

学校長：高所作業車がどの程度入るか、とうこともある。

委員：高いところは切ってもらったほうが良い。倒れる可能性があるので賛成。

委員：高いところに上って切ってくれる人がいた（有料）。ニセアカシアを切って下さった。

学校長：今回は無料でやっていただけるので、とりあえず申し込んでみたいと思う。

事務局：校舎図の木の所に印をつけて提出する予定。

5 閉会の言葉

今回は第5回 2月13日（月） 開始時刻は午後5時45分